

## No. 2025

### ミューレン破裂度試験機(A型簡易油圧クランプ式)

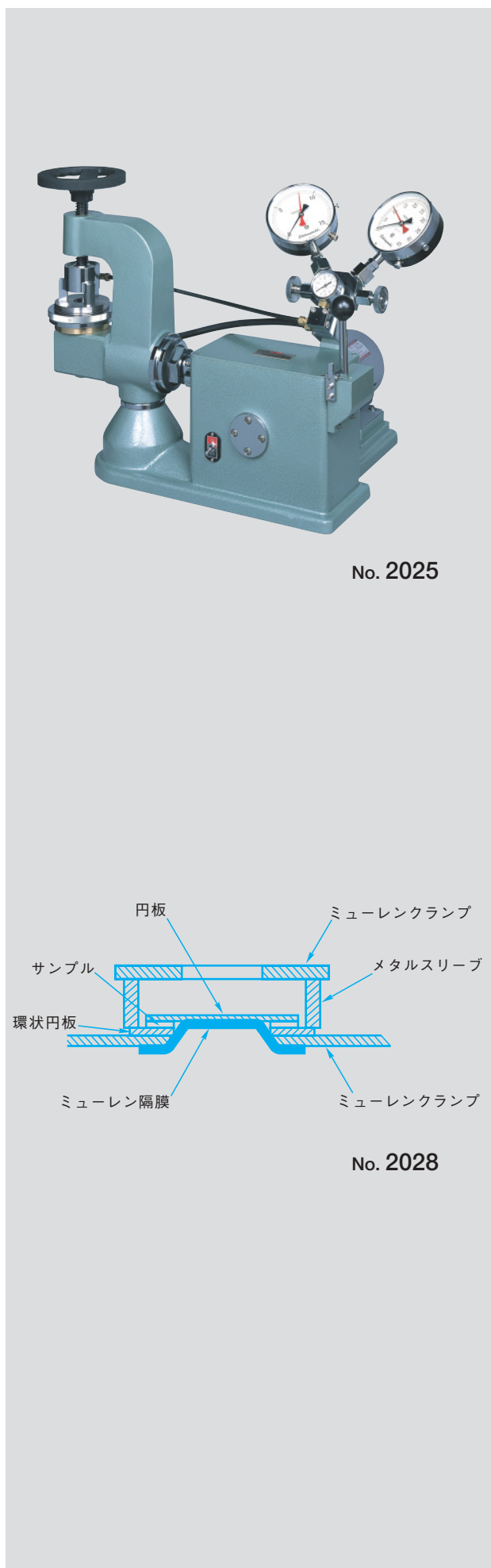
破裂強さは紙面に垂直な圧力を加えた時、その紙を破裂するのに要した力を測定するものです。引張り強さと似た傾向があり、特に縦方向引張り強さと伸びに相関しています。

本機は板紙、ライナー原紙、段ボール、織布等の破裂強度測定に用いられます。原理はグリセリンを使用してゴム隔膜を介して試料を間接的に加圧し、破裂時に於ける最高圧力を圧力計から読み取ります。

加圧の方法はモータ駆動によりプランジャーの進入させて圧力を加えます。試験片締付部は、低圧型より大型のものとなっており、試料をしっかり抑えます。締付部は上下共SUS-304ステンレス鋼を使用しています。

尚、測定値の再現性を保つため、締付け部の油圧シリンダーに取付けた圧力計の指針を見ながら、ハンドル操作により一定の圧で簡単に試験片を固定することができます。

- 試料クランプ：上部 31.5±0.05mm 下部 31.5±0.05mm
- 加 圧 速 度：170±15cc/min.
- 減 圧 速 度：340cc/min.
- 圧 力 計：1MPa、1.5MPa、2MPa、5MPaの内2個を選択  
デジタル表示器を取り付けることもできます。（オプション）
- 参 考 規 格：JIS P-8131-1995、TAPPI T807om-03、  
T810om-85、ISO 2759
- 電 源：100/110V 50/60Hz 2A
- 外 形 寸 法：760×500×540mm
- 重 量：91kg



No. 2025

## No. 2028

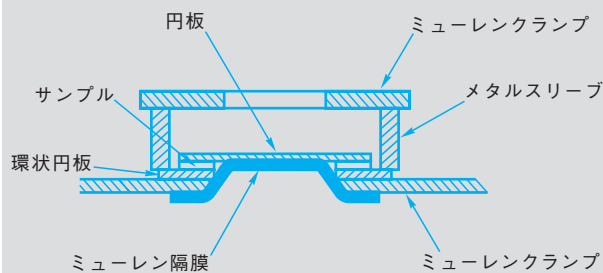
### 層間はく離強さ試験器（破裂度試験機専用）

板紙の層間はく離強さを破裂度試験機を利用して測定するものです。

その原理は、両面テープを貼り付けた板紙試験片をドーナツ状に切り抜き、図示の環状円板と孔なし金属板で挟むように貼り付け、破裂度試験機に組み込み加圧します。加圧をするとゴム隔膜は孔なし円盤に向かって膨張します。

はく離するまで加圧を続け、その時の最大圧力を読み取ります。

- 参考規格：TAPPI UM522



No. 2028